

愛知県が発行する「グリーンボンド」への投資について

学校法人愛知学院（理事長：小島泰道）は、2015年に国連が定めた持続可能な開発目標（SDGs）達成への取り組みとして、このたび、愛知県が発行するグリーンボンド（愛知県令和4年度第13回公募公債（グリーンボンド・5年））、以下「本債券」という）に投資したことをお知らせします。

「グリーンボンド」とは、環境改善効果を有するプロジェクトに充当先を限定した資金調達のために発行される債券です。本債券は、国際資本市場協会（International Capital Market Association:ICMA）が定義する「グリーンボンド原則2021」、及び「環境省グリーンボンドガイドライン2022年版」への適合性について、株式会社格付投資情報センターからセカンドオピニオンを取得しています。

本債券の発行による調達資金は、愛知県が取り組む環境改善効果のある下表のグリーン化事業に充当されます。

分類	事業内容
エネルギー効率	・信号機のLED化（交通安全施設整備）
汚染の防止と管理に関する事業	・大気汚染監視施設整備
生物自然資源および土地利用にか かる環境維持型管理	・林道整備
生物多様性保全に関する事業	・干潟、浅場、藻場造成 ・増殖場造成 ・河川環境整備 ・魚礁漁場整備 ・種苗生産施設整備
クリーン輸送	・公用車の電動車化
グリーンビルディング	・県有施設の新築、改修
気候変動への対応	・河川海岸整備 ・農地防災対策 ・砂防関係施設整備 ・治山施設等整備

今後も本学院は、適切なリスク管理のもとで、本債券を始めとしたESG投資を継続的に実施し、今後も社会的責任を果たして参ります。

本件に対するお問い合わせ先
学校法人愛知学院 財務部
052-751-2561（代）